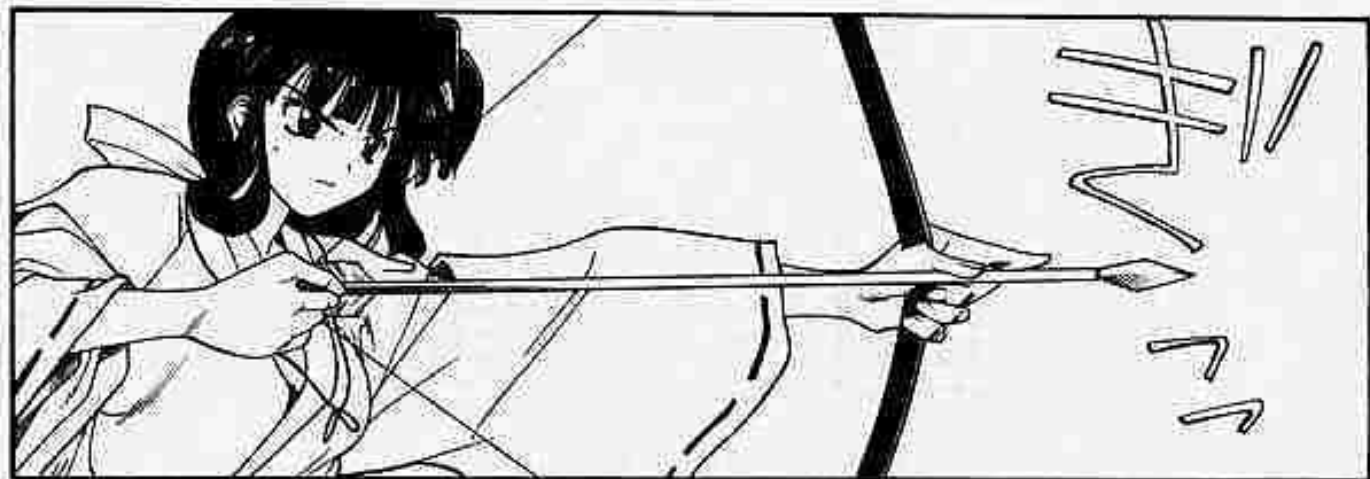




艷
罪





い

あ

どうして
なんてよ桔梗...

答えてよっ

... 梗...

桔

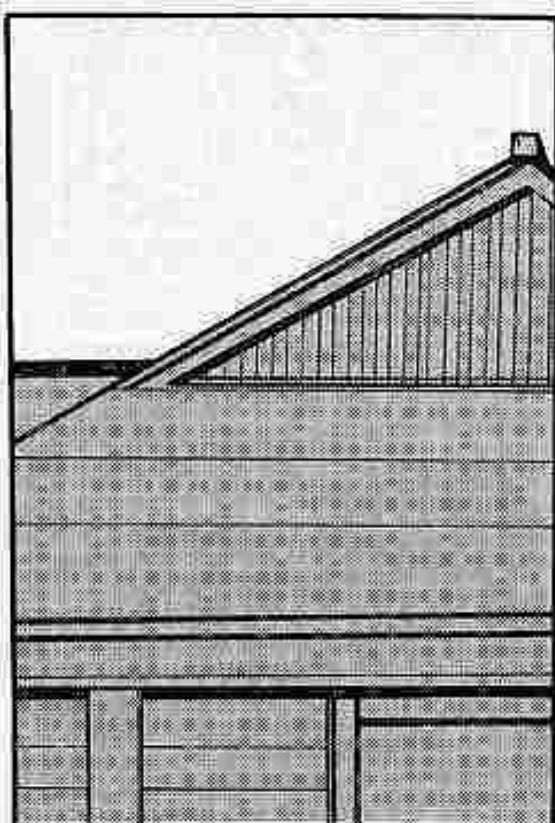
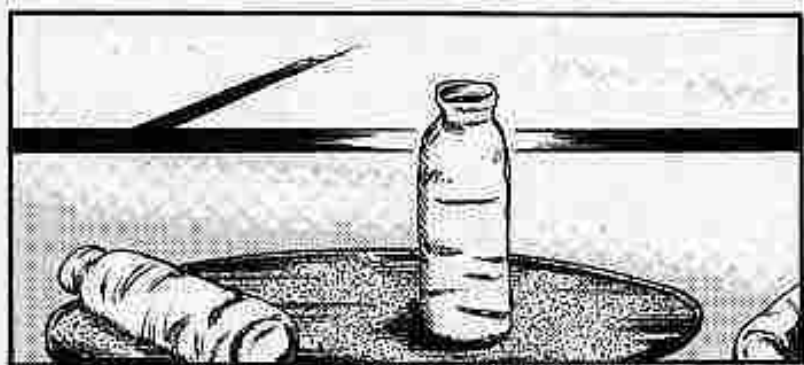


桔梗・・・？



えっ！





来たか・

思っ
て
いた
より
も
早
いな
・

余程、勘に
さわつたとみえるな・

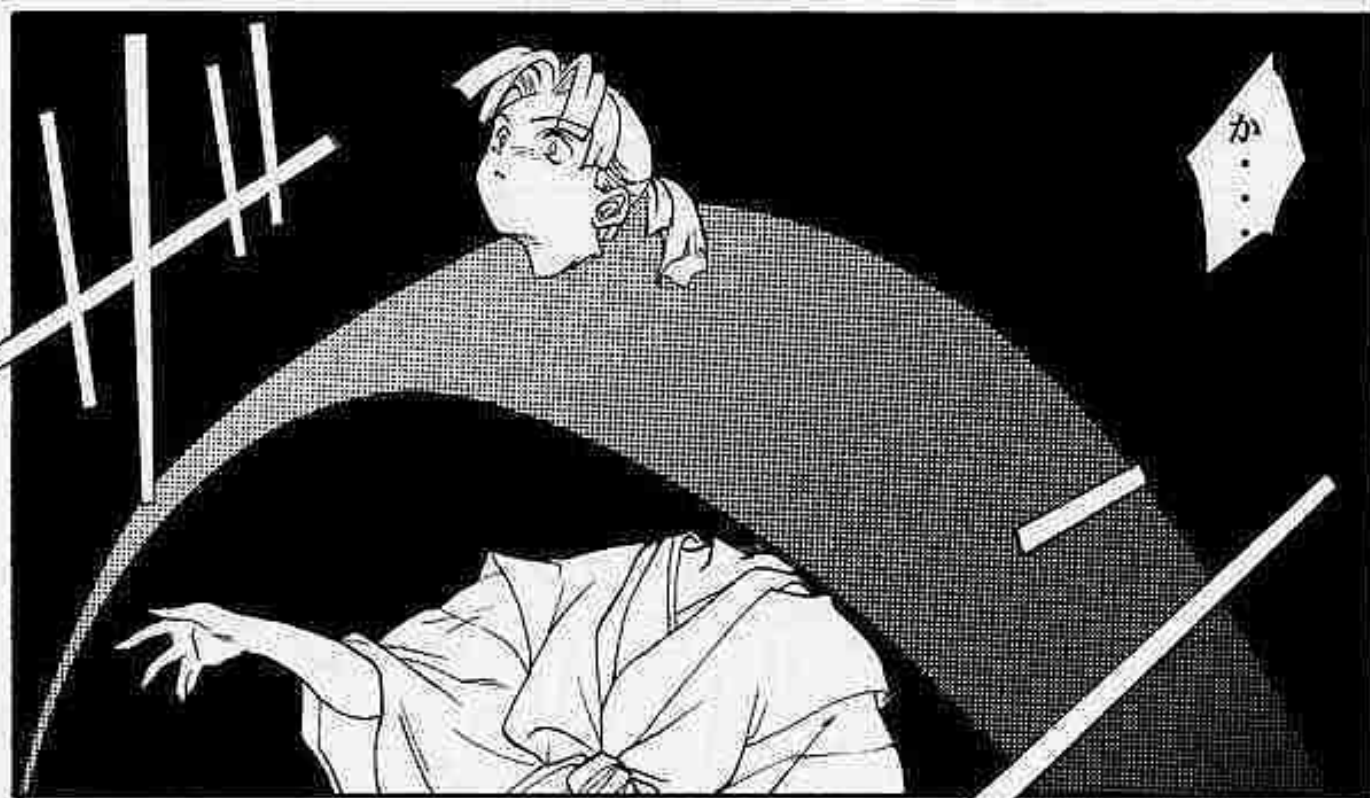
なあ、

桔梗よ。









無粋な輩だ……

人の恋路に
水を差しに
くるとは・
そう思うだろ
桔梗……？

口が過ぎるな
奈落……

……狩るぞ

フ

ハ





ククク...不思議かなぜ私がお前に触れることが出来るのか?

貴様!

お前は物事の一面にとらわれ過ぎて多面的な思考を持ち合わせておらぬからなあ...

なっ

なにっ

!



だから我が術中にもたやすくひっかかる...

ククク

!! 犬夜叉!



鬼蜘蛛の抑止力が
効いて触れることが
できないだっど？

はっ
はっ

間違ひしてもらっては
困るな・・・



確かに殺意をもって
お前と対峙
しようというなら
そのような力も
はたらくが

その禁忌にさえ
触れなければ
抑止力ははたらかず
こうして触れることも
出来る・・・



それ
どころか

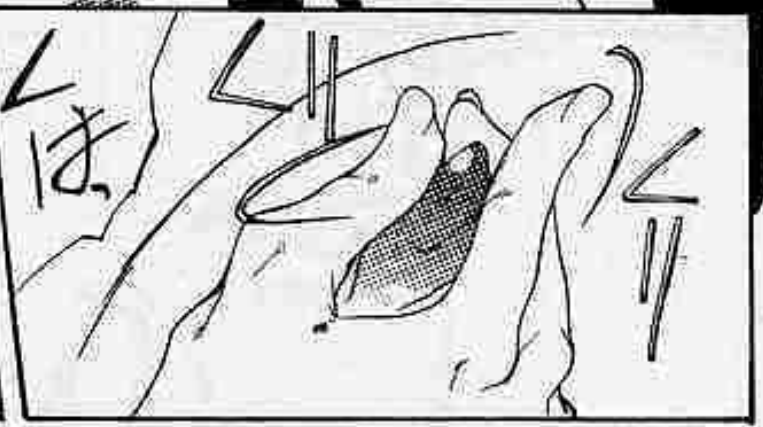
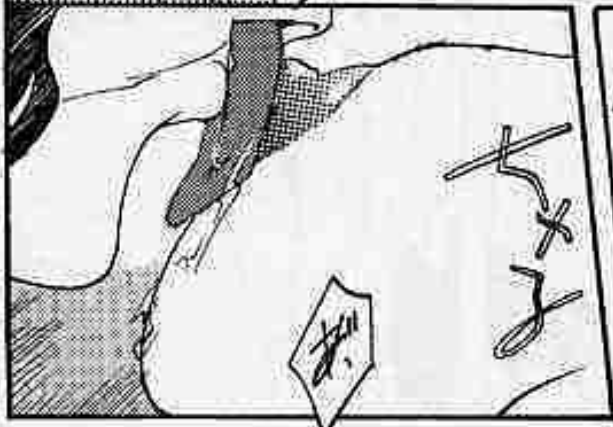


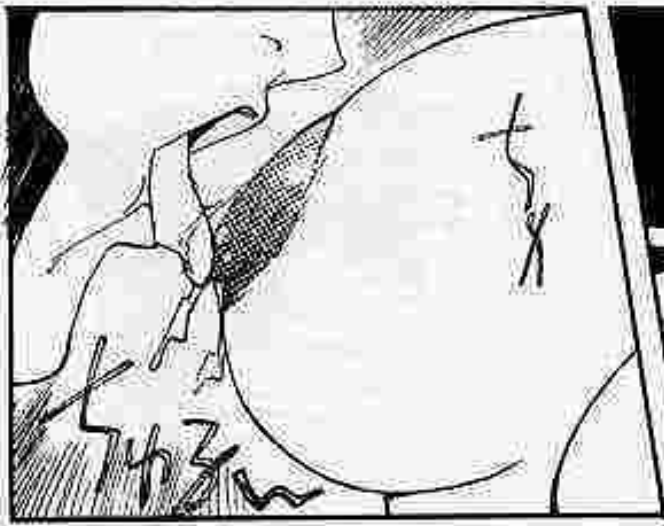
奴の望むままに
行動しているんだ
抑止力がかかる
どころか

何時になくこの体に
力がみなぎってくるわ！
はっはっはっはっ！！



離れる
貴様
っろ
!







— 神無・

アウ



犬夜叉・
犬夜叉か

お

ふふ

あああ

面白いものを見せて
やろう・・・



なに・・・？

神無の鏡は全てを

映す・・・

見たままさ・・・

奴にしてみれば
お前に射抜かれたと
思っているからな

おおかた自暴自棄に
娘を求めたのだから？

なんなの・・・？

お前の愛する犬夜叉と
かごめとかいう娘が契りを
交わしておるのであるう？

情けない奴だ・・・



なんだ、また一段と湿ってきたぞ

奴を見て興奮したか？
感じたのか？

七かう



お前も奴に激しくされたかったのであろう・・・？

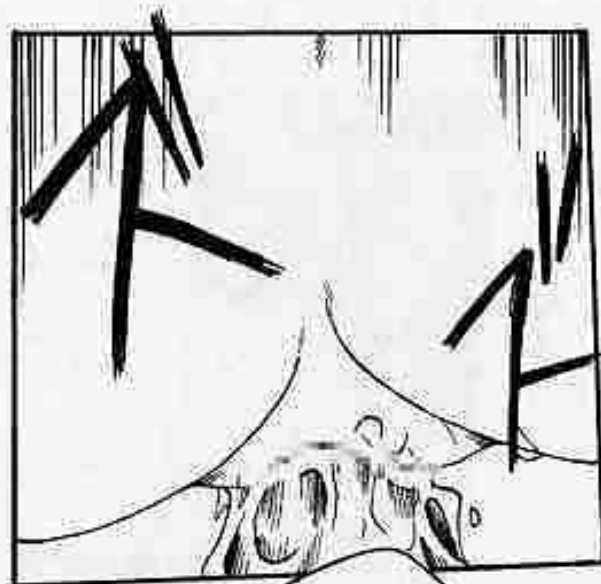
全ての因果より開放され抱きしめてほしかったのであろう？

あはは

はあ



ほうら・・・お望みの
モノだ・・・



熱いの...

ちゅぽ...

はみ

もっと...して...

はみ

切ないの...

ほしいの...

疼くの...

挿れて...

しゃべりながら...

挿れ回して...

どうなってもいいの



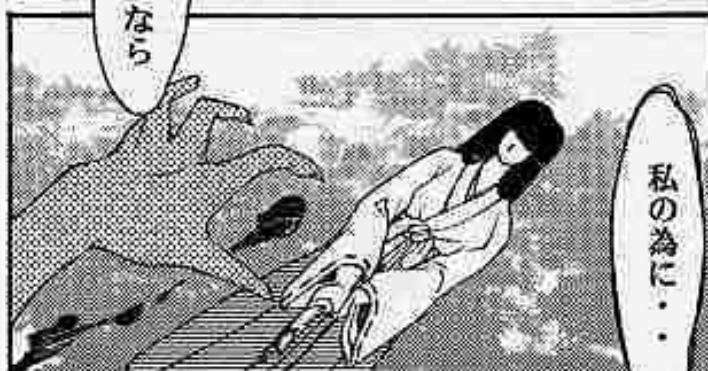
・・・私を・・・

壊して・・・











ADULT ONLY